

ムカゴニンジン

Sium sisarum L.

セリ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における生育地が限られ、環境が人為による影響を受けやすい。個体数も少ない。(現況:R-)

形態

草本。茎は高さ30~100cmで多くの枝を出す。葉は3~5小葉からなり、小葉は長卵形~披針形でほとんど無柄。長さ1~8cmで幅2~10mm。枝先に小形の複散形花序をつけ、花は白色で小さい。

国内分布

北海道、本州、四国、九州。

県内分布

外浦区、内浦区、中能登区、加賀中央区、南加賀区。

生態など

多年生。花期は9~10月。秋の終わり頃に葉脇にむかごをつける。太い根は食用になる。

生育環境

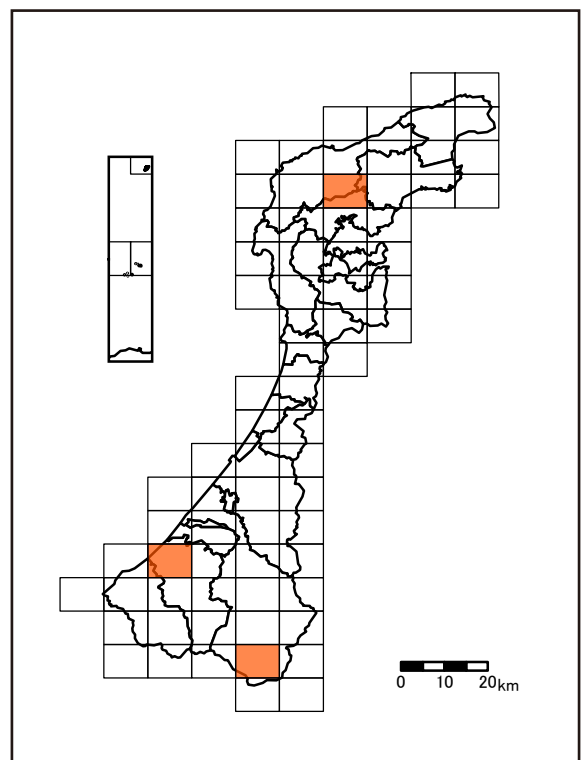
湿地。

危険要因

湿地開発、道路工事、自然遷移、産地局限。



林 二良・2008年9月3日・内浦



県内の分布